取扱説明書

ＬＰ１１００型
電磁流速計データ収集プログラム
ＬＰ１１００ＷＮ　Ｖｅｒ．８．００

株式会社ケネック

ご注意！

1．本プログラムソフトウエアは、全てのパソコン動作環境での動作を保証するものではありません。

2．ご使用のパソコンや、動作環境によっては、正常に動作しない場合がございます。このソフトウエア及びマニュアルを運用した結果による問題については、当社は一切責任を負いかねますのでご了承下さい。

3．このソフトウエアの仕様およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

1．まえがき

本プログラム（LP1100WN）は、ＬＰ１１００型電磁流速計の内蔵メモリに蓄えたデータを RS232C を通してパソコンに取り込みます。

2．動作環境

・パソコン　　DOS/V 互換機
　　COM ポート１機以上装備のもの（ノート型パソコンでも可）
・ＯＳ　　WINDOWS95、98、Me、NT4.0、2000、XP
・ＣＰＵ　　Pentium100MHz 以上（推奨 MMX Pentium200MHz 以上）
・メモリ　　32MB 以上（推奨 64MB 以上）
・ハードディスク空き容量
　　500MB 以上（推奨 1GB 以上）
・LP1100　　Ver.8.00

3．付属品

・ＣＤ－ＲＯＭ　　１枚
・取扱説明書（本書）　１部

4．セットアップ（この項目は最初の１回限りです。）

ここでは、パソコンにプログラムをインストールする手順を示します。

4.1　ＣＤ－ＲＯＭの場合

① 起動しているアプリケーションを全て終了します。
② CD-ROM をドライブに入れます。自動的にインストールの画面が立ち上がります。もし、立ち上がらないときは「スタート」、「ファイル名を指定して実行」、「参照」、「CD-ROM」、「Setup」の順にクリックして、「開く」をクリックします。
③ 名前が「D:¥setup.exe」となっていることを確認して、「ＯＫ」をクリックします。
注）ドライブ名はパソコンによって違いますので注意して下さい。
④ 「起動しているすべてのアプリケーションを終了して」と表示されますので、すべて終了していることを確認のうえ、「ＯＫ」をクリックします。
⑤ 四角の枠に囲まれたパソコンの絵をクリックします。
⑥ その後はパソコン画面の指示に従って進めて下さい。

⑦ 「LP1100WNのセットアップが完了しました」と表示されたら、「ＯＫ」をクリックします。
⑧ CD-ROMを取り出して終了です。

4.2 フロッピーディスクの場合
① 起動しているアプリケーションを全て終了します。
② DISK1をドライブに入れます。
③ 「スタート」、「ファイルを指定して実行」、「参照」、「3.5インチFD」、「Setup」の順にクリックして、「開く」をクリックします。
④ 名前が「D:¥setup.exe」となっていることを確認して、「ＯＫ」をクリックします。
注）ドライブ名はパソコンによって違いますので注意して下さい。
⑤ 「起動しているすべてのアプリケーションを終了して」と表示されますので、すべて終了していることを確認のうえ、「ＯＫ」をクリックします。
⑥ 角の枠に囲まれたパソコンの絵をクリックします。
⑦ その後はパソコン画面の指示に従って進めて下さい。
⑧ 「LP1100WN のセットアップが完了しました」と表示されたら、「ＯＫ」をクリックします。
⑨ DISK3を取り出して終了です。

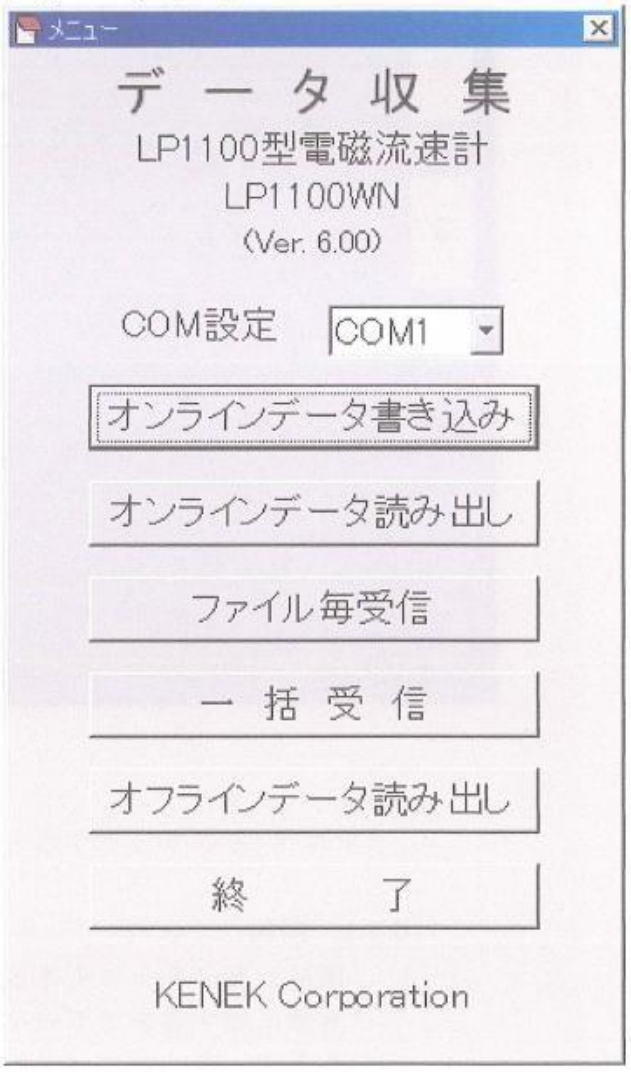

図1

5．プログラムの起動・終了
① LP1100本体とパソコンのCOMポートを付属の通信ケーブルで接続します。
② 「スタート」、「プログラム」、「LP1100WN」、「LP1100WN」の順にクリックすると、図1のメニュー画面が表示します。
③はじめに「COM設定」で、接続したCOMポートの番号に合わせて下さい。COM1～COM8まで選択可能です。
④本プログラムを終了するときは、「終了」をクリックします

6．オンラインデータ
LP1100型のリアルタイムでデータをパソコンに転送します。1画面で表示出来るデータ数は1000個です。このため1000個毎に画面は切り替わります。
サンプリングの設定で80Hzを選択すると、1画面で表示できるのは12.5秒間、1.25Hzを選択すると、1画面で表示できるのは800秒間となります。

6.1　オンラインデータの書き込み

LP1100 本体をマニュアル測定モード(MEAS2)のマニュアルレンジ(R1～R4)の何れかにし、測定画面にします。次に図１の画面で「オンラインデータ書き込み」をクリックすると図２の画面になります。

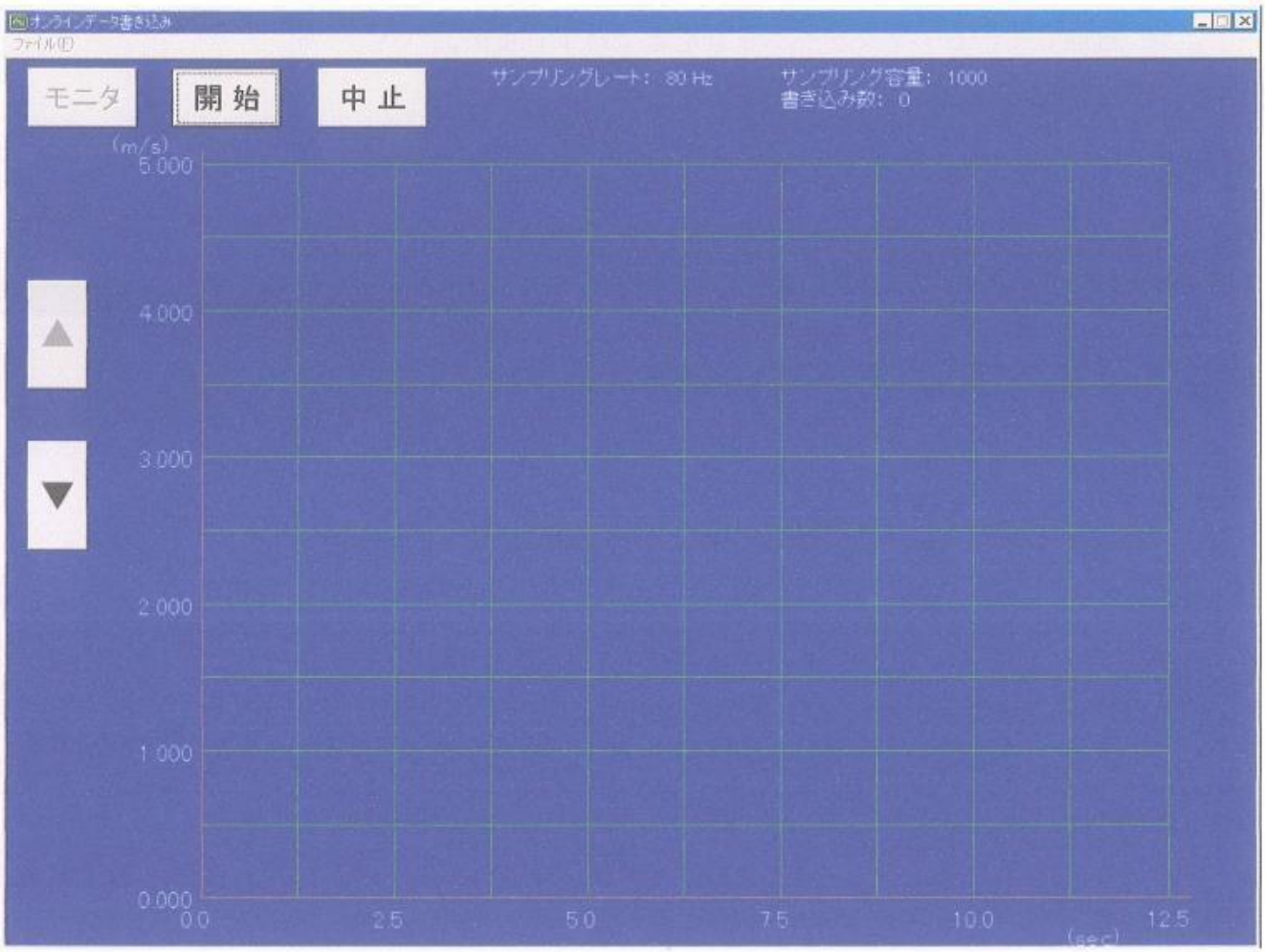

図２

6.1.1　モニタ

「モニタ」をクリックすると LP1100 本体からデータを受け取りグラフに表示します。

6.1.2　開始

「開始」をクリックするとサンプリングで設定したサンプリングレートでサンプリング容量に達するまでデータを取り込みます。容量に達すると、ファイル保存の画面になります。そこでファイル名、保管するフォルダを指定して「保存」をクリックし、保存します。

6.1.3　中止

「中止」をクリックするとモニタ、書き込みを中止し、サンプリングを変更できるようになります。

6.1.4　レンジ切換

グラフの左側にある「▲」「▼」をクリックすることによりレンジが切り替わります。見易いレンジにして、モニタして下さい。

6.1.5　サンプリング（6.2 参照）

「ファイル」、「サンプリング」の順にクリックすると図３の画面が表示され、サンプリング容量とサンプリングレートを変更できます。

6.1.6　終了

「ファイル」、「終了」をクリックするとオンラインデータ書き込みを終了し、図１のメニュー画面に戻ります。

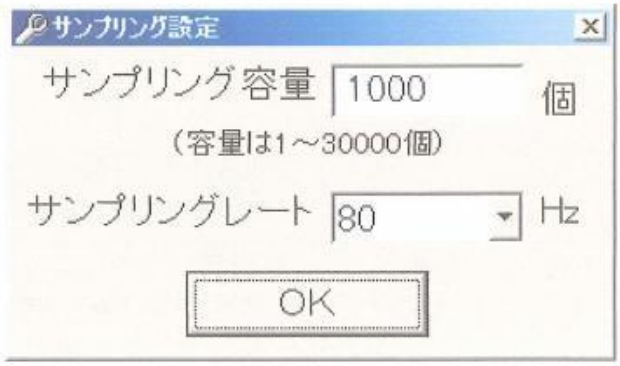

図３

6.2　サンプリング設定

ここでは、サンプリング容量とサンプリングレートを設定します。

6.2.1　サンプリング容量

サンプリング容量は最大 30000 データまでとなります。

例えばサンプリングレート 80Hz、サンプリング容量 800 個にすると１０秒間データを取り込むことが出来ます。

6.2.2　サンプリングレート(Hz)

サンプリングレートとは１秒間に取得するデータ数です。「▼」をクリックし、「1.25, 2.5, 5, 10, 20, 40, 80」の中から選択します。

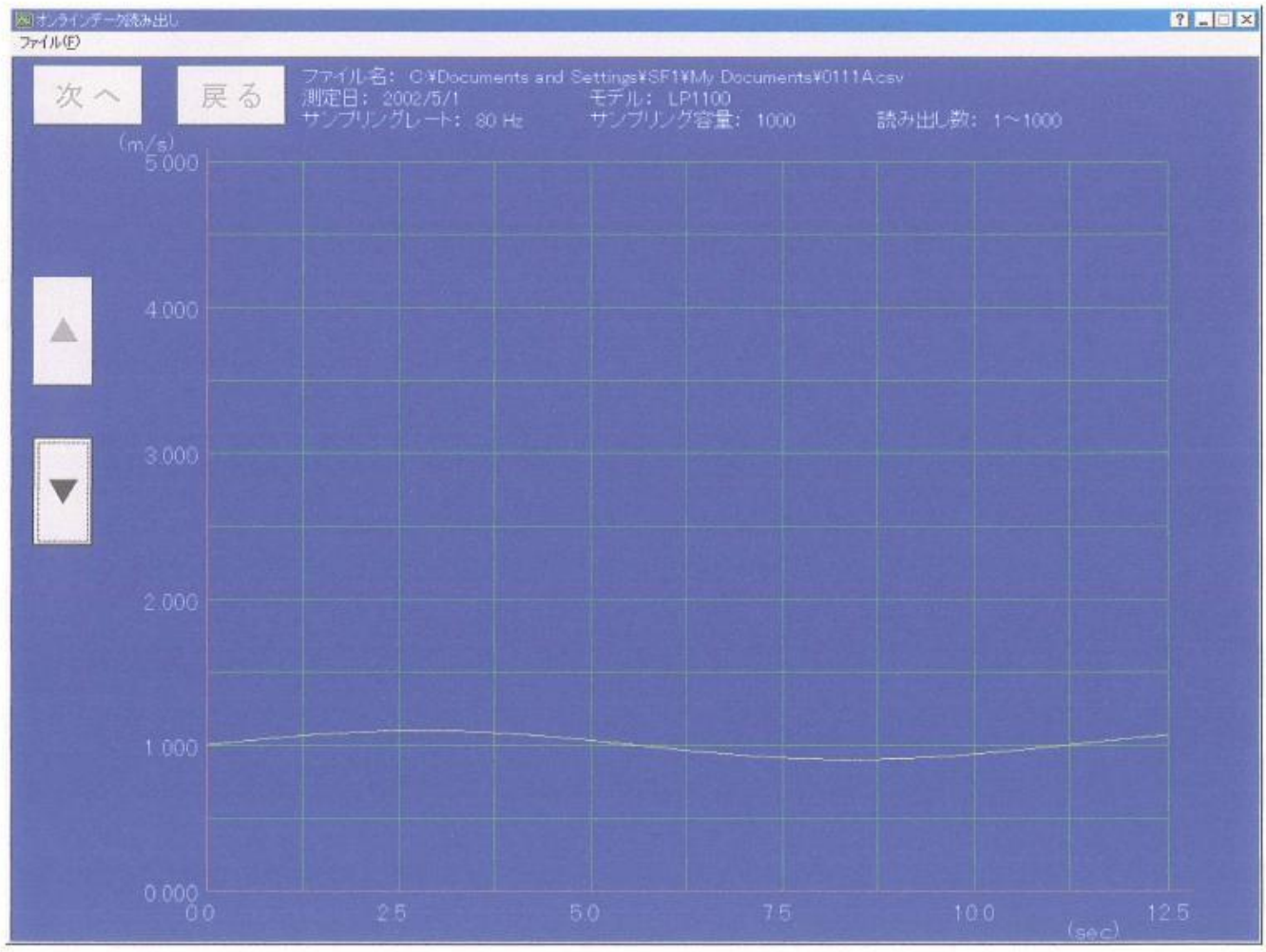

図４

6.3　オンラインデータの読み出し

図１の「オンラインデータ読みだし」をクリックすると、図４の画面が表示されます。ここでは 6.1 で取り込んだデータを読み出します。

6.3.1　先へ

サンプリング容量が 1000 以上の場合、「先へ」をクリックすると 1000 毎に進んでいきます。

6.3.2　戻る

「先へ」で進んだデータを「戻る」で 1000 毎に戻します。

6.3.3　レンジ切換

グラフの左側にある「▲」「▼」をクリックすることによりレンジが切り替わります。見易いレンジにして、モニタして下さい。

6.3.4　開く

「開く」をクリックすると「ファイルを開く」の画面が出ますので、その中からファイルを選択し、「OK」をクリックします。それにより選択したファイルを開き、グラフ表示します。

6.3.5　削除

「削除」をクリックすると「ファイルを開く」の画面が出ますので、その中からファイルを選択し、「OK」をクリックします。それにより選択したファイルを削除します。

6.3.6　閉じる

「閉じる」で全てを終了し、図１の画面に戻ります。

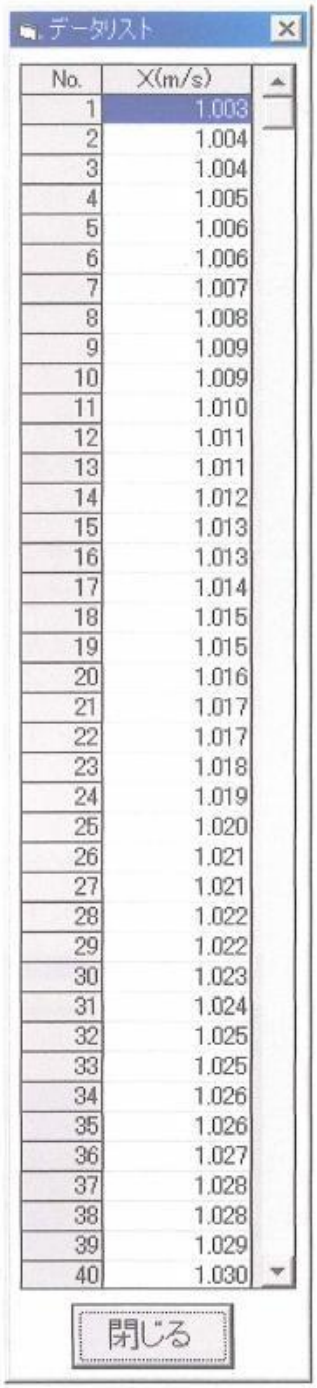

図５

6.3.7　データリスト

図４の画面上で、グラフの部分をクリックすると、図５の画面が出ます。これはクリックしたところから１００個のデータをリスト表示します。

7．オフラインデータ

LP1100 型の流速計の内蔵メモリに保存したデータを取り込み、表示します。

データの取り込み中は他の作業をしないで下さい。

7.1　ファイル毎受信

①P1100 本体の画面を[MODE],[OK]キーにより、「CONTROL」、「transmit」、「Start the PC Program」の画面にします。

②図１の「ファイル毎受信」をクリックすると、図６の画面が表示されます。

③始めにファイル名だけを受信し、ファイル名を選択した後、データを受信します。

7.1.1　取り込み

取り込みたいファイル名を選択し、「ＯＫ」をクリックします。その後データの受信が始まり、保存の画面になります。そこではLP1100本体で設定したファイル名が表示されています。そのファイル名で良ければ「OK」をクリックし、保存します。変更するときはファイル名を変更し、「OK」をクリックして保存します。

7.1.2　キャンセル

「キャンセル」をクリックすると終了し、図１のメニュー画面に戻ります。
これを行うとLP1100本体の画面は「Waiting File No.」で止まっていますので、本体の[MODE]キーを押し、戻して下さい。

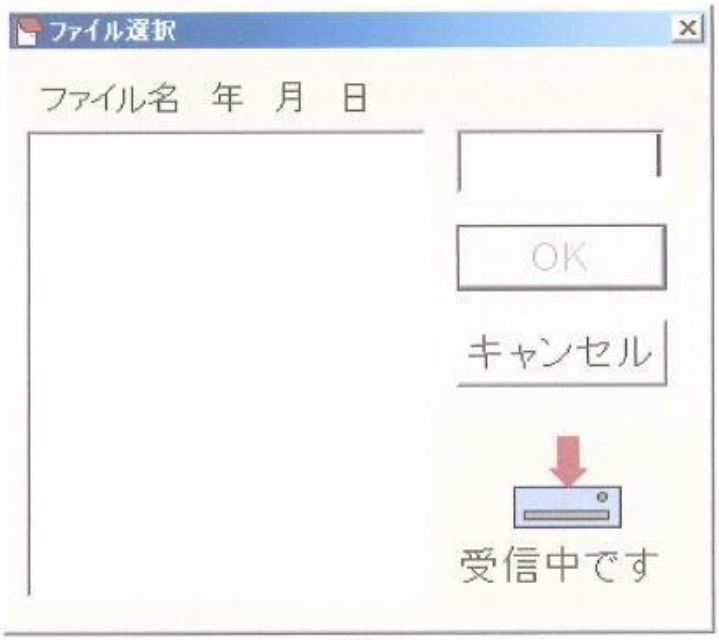

図６

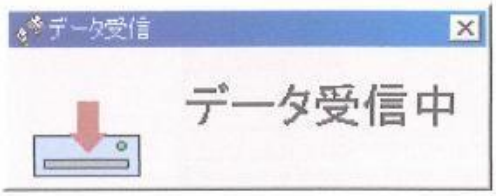

図７

7.2　一括受信

①LP1100本体の画面を[MODE],[OK]キーにより、「CONTROL」、「transmit」、「Start the PC Program」の画面にします。

②図１の「一括受信」をクリックすると、図７の画面が出ます。これにより、全てのファイルと、データを受信することが出来ます。本体で作成したファイル毎にデータを保存します。ファイル名を付ける時は本体で作成したファイル名になります。変更することも出来ますので、ファイル毎に行い、保存して下さい。

7.3　オフラインデータの読み出し

図１の「オフラインデータ読みだし」をクリックすると図８の画面が表示されます。ここでは7.1、7.2で取り込んだデータを読み出します。

7.2.1　先へ

「先へ」をクリックするとデータが１００個ずつ表示します。

7.2.2　戻る

「戻る」をクリックすると１００個ずつもどります。